

【TAKAMI BRIDAL】2023年9月に創業100周年
100年のホスピタリティの「本物」を、次の100年へ

国内外のウェディング、MICEマネジメント、レストラン事業をはじめ、ホスピタリティを持って上質なライフスタイルを提案するTAKAMI GROUPのTAKAMI BRIDAL（高見株式会社 本社:京都市下京区、代表 高見重行）は、2023年9月に創業100周年を迎えました。



お客様、パートナー企業・クルーの皆様、関係するすべての方に心より感謝申し上げます。

1923年、京都の呉服商から始まったわたしたちは“人から人へ”と優しくつながる心を込めたおもてなしによって多くのお客様の大切な思い出を育んできました。

わたしたちはこれからも「ありがとう」と伝え合える関係を大切に、パートナー企業の皆様・クルーの皆様とともに本物のサービスを追求し続けます。

そして、その最高のホスピタリティとともに、すべてのお客様の人生を豊かに彩る、幸せの物語を紡いでいきます。

TAKAMI
HOLDINGS
Inc.

〈本リリースに関するお問い合わせ先〉
TAKAMI HOLDINGS株式会社 (www.takami-hd.com)
広報・PR：伊藤
address.東京都港区南青山3-17-14 中山ビル6F
tel.03-3796-2235 fax.03-3796-2236
mail. y-ito@takami-hd.com

TAKAMI BRIDAL・会社概要

- 商号：高見株式会社
- 創業：1923年9月10日
- 事業：ブライダルコスチューム事業
ウエディングプロデュース&マイルス事業
国内&リゾート教会運営
レストラン事業
フラワー事業
サービス事業（フォト、ジュエリー、式場紹介、オンラインストア、コンサルティング…etc）
- 本社：京都府京都市下京区五条通河原町西
- web：<https://www.takami-bridal.co.jp/>

TAKAMI BRIDAL・100周年の取り組み

- TAKAMI BRIDALを卒業された元社員へ感謝を伝える会を実施
開催日：2023年8月24日（木）

開催場所：京都ノーザンチャーチ北山教会
Guest House 北山倶楽部
ザ・トリニティハウス

開催内容：創業100周年を迎えるTAKAMI BRIDALは、これまでの感謝の気持ちを込めて、元社員の方をお招きしSpecial Thanks Partyを開催いたしました。

会場では懐かしい顔ぶれとの再会を喜び、思い出話や苦勞話に花を咲かせたほか、先輩方から現役のクルーに向けて、心温まる激励のメッセージをいただきました。

改めて、これまで会社の発展に尽力くださったクルーの皆様へ御礼申し上げます。わたしたちはこれからも、「ありがとう」と伝え合える関係を大切に、パートナー企業の皆様・クルーの皆様とともに本物のサービスを追求し続けます。



TAKAMI BRIDAL・100周年の沿革

- 1923 京都にて和装着物販売業務・高見重信商店を創業
1952 婚礼衣裳製造卸業務を開設 法人組織とし、株式会社高見商店を設立
1954 婚礼衣裳のレンタルサービスを開始
1970 優良納税法人として所轄税務署より表敬を受ける（その後、現在まで表敬を受けている）
1972 本社を五条通河原町西に新築移転
1973 創業50周年
1985 ブライダルコスチューム事業を拡大、大阪・扇町にドレスサロンを開設
1986 東京・南青山にドレスサロンを開設
1990 滋賀・大津市にドレスサロンを開設
1992 京都・西京極にブライダルコスチュームのメンテナンス施設“BRIDAL LAB”を開設
1993 創業70周年
1994 チャーチウエディング事業を開始
海外ウエディング事業を開始
平安遷都1200年記念事業参加、第1回「にっぽんと遊ぼう」開催（その後、2013年まで20回に渡り開催）
1995 兵庫・神戸元町にドレスサロンを開設
1996 東京・高輪にBRIDAL LABを開設
1999 東京・南青山に南青山ル・アンジェ教会を開設
2000 兵庫・神戸にハーバートライズチャーチを開設
2002 福岡・赤坂に赤坂ル・アンジェ教会を開設
2003 創業80周年
レストラン事業を開始
ウエディングカレッジ事業を開始
京都・北山に北山ル・アンジェ教会、RESTAURANT VITRAを開設
2004 フラワー事業を開始
京都・北山にGuest House北山倶楽部、AMESSA Kyoto by TAKAMI BRIDAL、Trattoria Pinoを開設
ECOイベント“100万人のキャンドルナイト”に賛同（その後、現在まで冬至と夏至に併せて毎年開催）
京都TAKAMI BRIDAL COLLEGEがBIA公認資格IBC検定の認定校第一号に認定
2008 コーポレートブランド及びコスチューム事業ブランドの名称を統一し、「TAKAMI BRIDAL」に変更
名古屋・栄にTAKAMI BRIDAL NAGOYAを開設
神奈川・横浜みなとみらいにTAKAMI BRIDAL YOKOHAMAを開設
2009 名古屋・覚王山に覚王山ル・アンジェ教会を開設
2010 宮城・仙台にGRANBELLEZZA produced by TAKAMI BRIDALを開設
京都市教育委員会から障害者就労支援の感謝状拝受
2011 ハワイウエディング事業を開始、全国8カ所に海外挙式受注のDESTINATION DESKを開設
2012 福岡・天神にTAKAMI BRIDAL FUKUOKAを開設
ハワイ・オアフ島にウエディングベニユ 「The Terrace By The Sea」 「53 By The Sea」 を開設
東京・六本木にThe Terrace TOKYOを開設
2013 創業90周年
2015 熊本・熊本市にTAKAMI BRIDAL KUMAMOTOを開設
東京・表参道にMAGNOLIA WHITEを開設
イベントプロデュースブランド「SUMMER HOUSE」を発足
2016 ハワイ・ホノルルにMAGNOLIA WHITE第2号店を開設
ウエディングプロデュース&マイス事業を開始
京都・祇園に祇園びとら、を開設
2017 TAKAMI HOLDINGS株式会社を設立
2018 大阪・心斎橋にブライダル業界初の複合ビル
THE DRAPE shinsaibashiを開設
2019 神戸と京都にMW BY MAGNOLIA WHITEを開設
2020 京都にTHE DRAPE kyotoを開設
コンサルティング事業を開始
ブライダルジュエリー事業を開始
2021 公式オンラインストアを開設
ファッションジュエリー事業を開始
2023 創業100周年

TAKAMI BRIDAL・SDGs取り組み

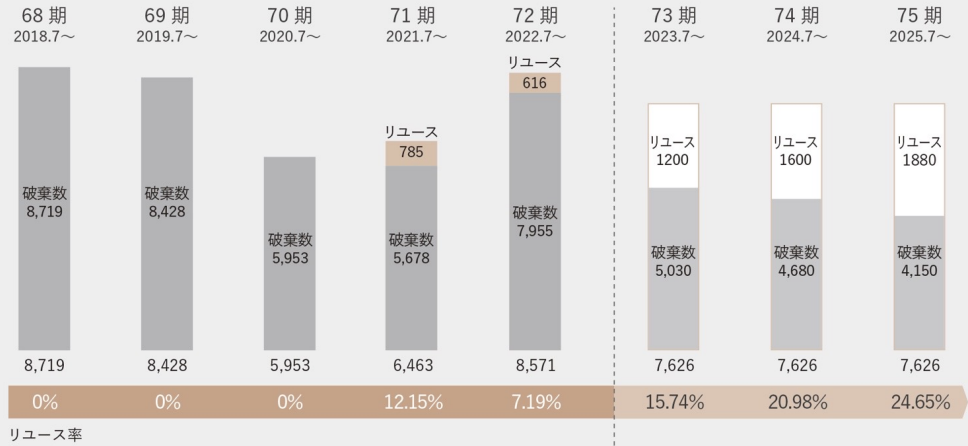
衣裳における持続可能

目標

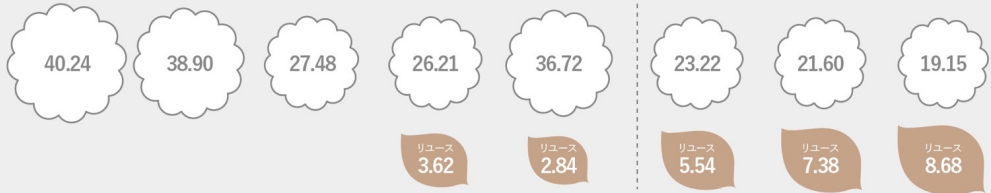
婚礼での役目を終えた衣裳の、教育機関への寄贈やアップサイクルにさらに力を入れていきます。人・社会の役に立ち、廃棄に伴うCO2の削減も実現していきます。ドレスに関わるアイテムには環境に配慮された素材の採用を進めていきます。



衣裳廃棄量(着)



廃棄に伴うCO2排出量(トン)



※2.55tCO2/t×廃棄量(t)=tCO2(CO2排出量) 環境省 地球温暖化対策地域推進計画策定ガイドライン参照



進行中の取り組み

製作時

- 環境に配慮されている素材の採用を進めています。
 - ・ドレスのループ紐にリサイクル原料の素材を採用
 - ・残布を出さない製法のパニエ
 - ・リサイクルナイロンを用いた衣裳移動用カバー
 - ・バイオマス素材の不織布

使用后

- 婚礼としての役目を終えた衣裳のアップサイクルで、新たな可能性の発見と廃棄の削減に繋がっています。
 - ・社内表彰の目録包み
 - ・アクセサリケース内の緩衝材
 - ・ロスフラワーのラッピング材
 - ・フェアで使用するミニベール
 - ・和紙の材料の一部として漉き込みアイテム化
- これまでに約1000点の衣裳を専門学校や職業支援学校・学校などの教育機関を中心に寄贈し、婚礼衣裳やブライダル文化の学びに役立っています。
- 教育機関との連携で、婚礼衣裳や和装文化の伝承を行い、ウエディング業界の発展に貢献しています。



TAKAMI BRIDAL・SDGs取り組み

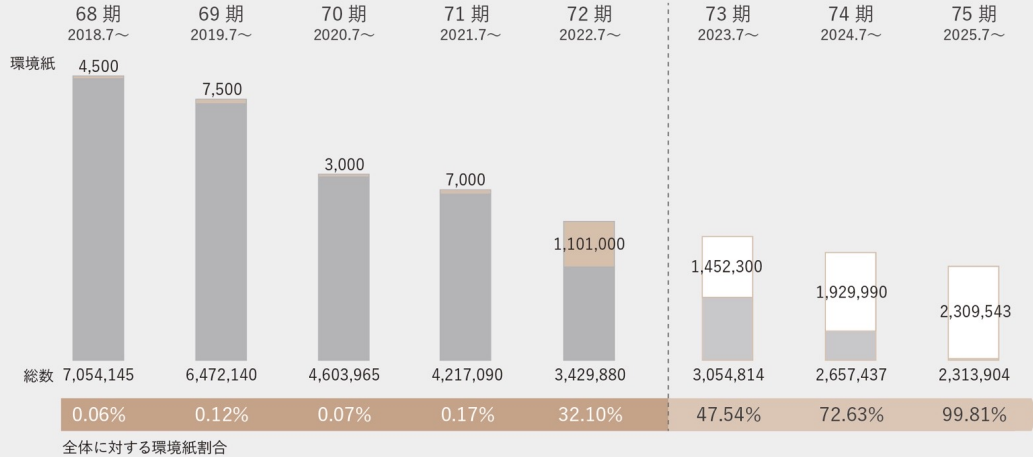
地球への貢献

目標

豊かな地球の為に、CO₂の削減や森林保全を推進し、
限りある資源を大切にす体制を整えていきます。

紙の使用総数における環境紙割合

※表の数値(パンフレット、コピー用紙などの紙類総計):A4用紙に換算した紙の使用量
※パンフレット1部をA4用紙10枚換算



全体に対する環境紙割合

保全した植林木

昨年比 81.33%
紙使用削減を達成

61本

※木1本から13,000枚のA4用紙ができる場合
日本製紙ホームページ参照

<https://www.nipponpapergroup.com/csr/forest/afforest/faq/>

- DXの推進、オンライン化により、業務の効率化とペーパーレスに取り組みます。
- コピー用紙を「FSC認証(※)」用紙に移行し、森林保全と野生生物の保護に貢献します
※FSC認証：適切に管理された森林の木材を用い、森林を守り続けていく為の国際的な制度
認証商品となるには、生産・加工・流通すべての組織が認証を受ける必要がある

紙パックウォーターによるCO₂削減(ペットボトル対比)

2022年2月以降
5646kg-CO₂
二酸化炭素削減

641本

の杉が1年に
吸収する量に相当

※ペットボトルにおけるCO₂排出について

「容器包装ライフ・サイクル・アセスメントに係る調査事業報告書」より
<https://www.aluminum.or.jp/environment/pdf/2-2-4-2.pdf>

※杉の木の二酸化炭素吸収について

「関東森林管理局の森林の二酸化炭素吸収力」より
<https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/hukusima/office/forest/knowledge/breathing.html>

食のサステナビリティ&バリアフリー

TAKAMIグループでは、確かな品質の安心・安全な食材を提供することで、「食」を通じてすべての人を幸せにします。

オーガニックや、無添加にこだわり、環境に配慮したエシカルな取り組みにも積極的に参加することで、健やかな食生活の実現と、サステナビリティを実現していきます。



ダイバーシティ&インクルージョン

- ・お客様やクルーひとりひとりの多様性に寄り添った風土を作り、成長し続ける企業を目指します。
- ・クルーが健康で安心して働ける環境整備を行います。

- 各種研修の実施(マタニティケアラー研修、LGBTQ+研修)
- 育児・介護をしながら働きやすい環境整備(両立支援制度、短時間正社員制度)
- お客様・クルーに健康を約束する禁煙ポリシーの徹底
- スキルアップの学費サポート、国家資格取得奨励金制度
- 障がい者雇用の促進、活躍の場の創出
- 車いすでの着用が可能な二部式和装の製作
- パンツスタイルのブライダルコスチュームの製作

